

報道関係各位

平成25年 1月31日  
株式会社 クロス・マーケティング  
(東証マザーズ3629)  
株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント

## 中国の消費トレンド、都市ごとの違いが明らかに！

“新製品への関心が低い”上海、“新しもの好き”な北京・広州、  
“人との違いを求める”成都

日本の5割弱に対して、中国では約7割の男性が料理を作り、  
中国では“料理男子”がスタンダード

—「中国4大都市・中間層の正体を探る」調査シリーズ②：中国人中間層のライフスタイルと消費意識・態度—

株式会社クロス・マーケティング(所在地:東京都中央区、代表取締役社長:五十嵐幹 以下、クロス・マーケティング)と、株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント(所在地:東京都中央区、代表取締役:桑田瑞松 以下、R&D)は、2012年11月に中国の4都市(北京/上海/広州/成都)で20~49歳のミドル収入層男女(世帯月収:5,000~7,999円)を対象に、共同で調査を実施いたしました。

### ■調査背景・目的

最近、中国経済の減速・停滞を懸念する声が聞かれますが、今回の調査では、中国という「国」や「産業」単位ではなく、大都市に住む「中国人中間層生活者」に、個人の生活価値観や生活意識、買い物行動などを尋ね、「都市別」「性・年齢別」にその実態を明らかにしました。

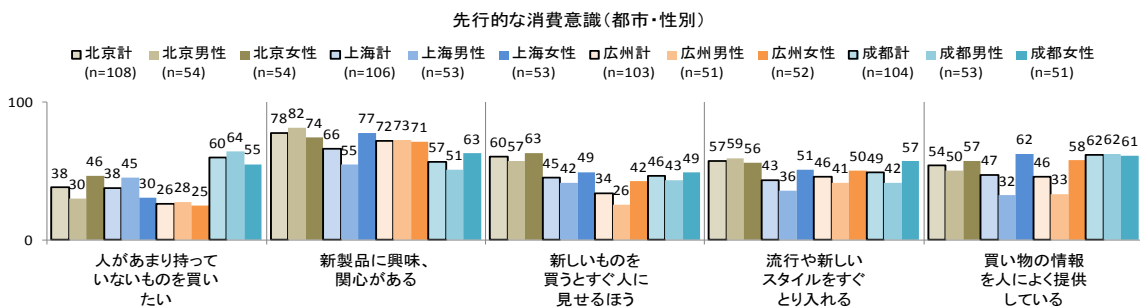
※一部の調査内容は、R&Dが毎年10月に東京首都圏で実施している『CORE』調査を基に、日中比較を試みました。

### ■調査結果

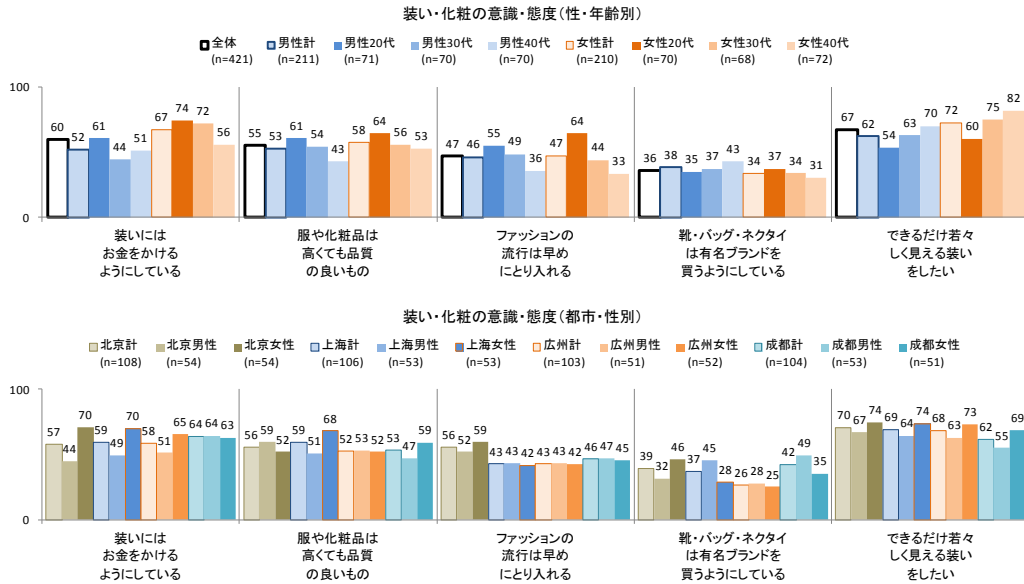
- ✓ 4都市の中で、新製品や流行スタイルへの関心が最も低かったのが上海。「新しい流行・スタイルを人に見せびらかしたがる」北京消費者。「新製品への興味・関心が高い」広州消費者。「人が持っていないもの」を買い求めたがる成都消費者。〈図1〉
- ✓ 「流行に敏感で品質にお金をかける」20代中国女性、「若々しさを追求する」30~40代女性。40代男性もその「予備軍」か。都市別では、「流行を重視する」北京女性、流行・ブランドよりも「品質重視」の上海女性。〈図2〉
- ✓ 「趣味・レジャー」と「将来に役立つ資格・技能修得」両面への投資意欲が極めて高い20代男女。特に「資格・技能取得」への意欲が強い広州女性。〈図3〉
- ✓ 料理をしている(だいたい作る、時々作る計)男性は、日本の5割弱に対して、中国では約7割と多い。都市別では、「料理をよく作る」広州女性に対し、相対的に「料理頻度が低い」上海女性。〈図4〉

◆自主調査レポートの続きはこちら⇒ <http://www.cross-m.co.jp/report/china20130131/>

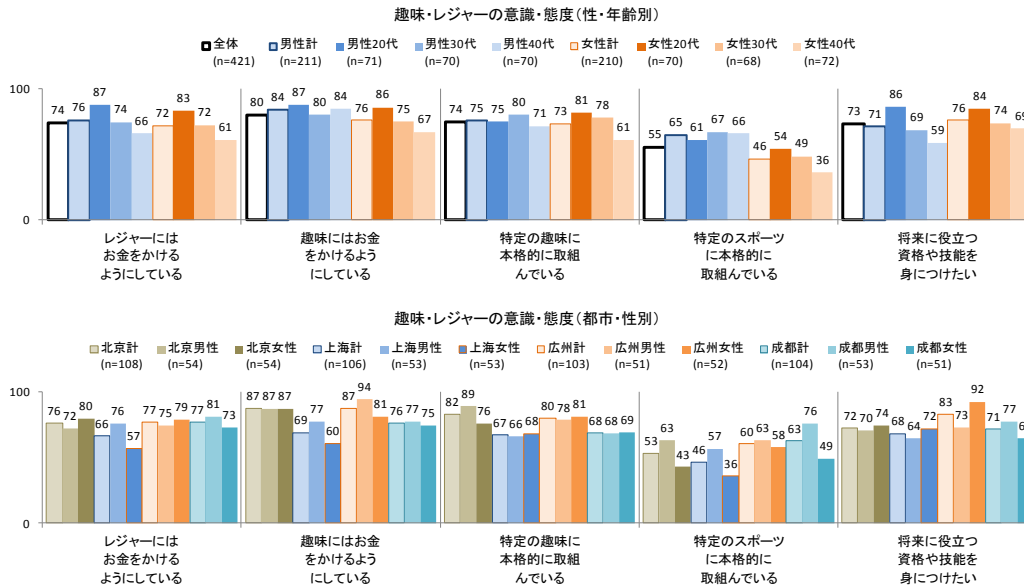
〈図1〉 先行的な消費意識



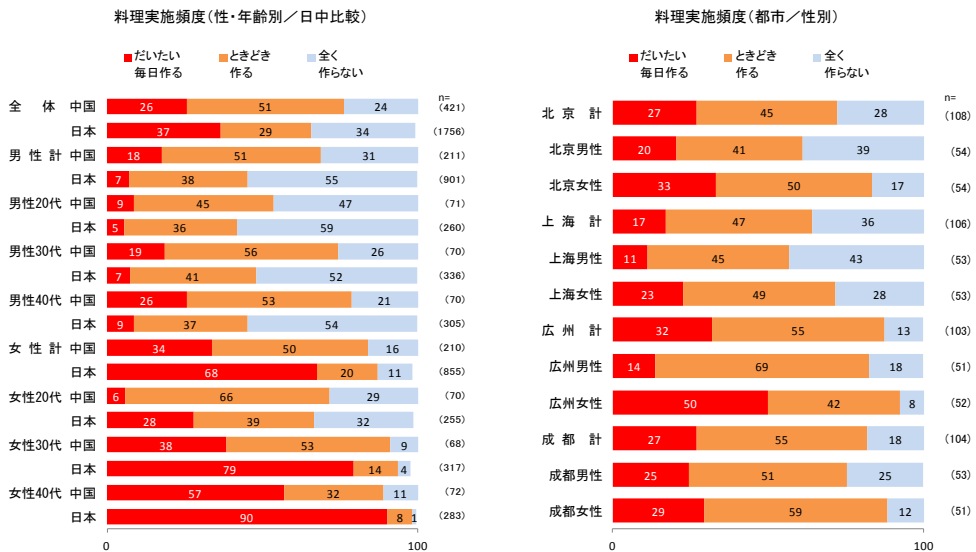
<図2> 装い・化粧の意識・態度



<図3> 趣味レジャーの意識・態度



<図4> 料理頻度



## ■調査概要

調査手法：“街頭リクルートによる1対1の面接調査と自記入調査の併用”実施

調査対象：中国4都市（北京/上海/広州/成都）20～49歳のミドル収入層男女（世帯月収：5,000～7,999円）  
各都市約100名

調査期間：2012年11月23（金）～2012年11月25（日）

有効回答サンプル数：421サンプル

※一部の調査内容はR&Dが毎年10月に首都40km圏で留置法で実施している『CORE』調査を基に日中比較した。

クロス・マーケティングとR&Dでは、今後「中国4大都市・中間層の正体を探る」調査として、三本立てシリーズで順次発表してまいります。

シリーズ①：中国人中間層の価値観・生活者マインド（前回 2013/1/21 プレスリリースご案内済み）

シリーズ②：中国人中間層のライフスタイルと消費意識/態度（今回）

シリーズ③：ITデバイスの普及・利用状況と買物時に重視する情報源

## ■会社概要■

会社名：株式会社クロス・マーケティング（東証マザーズ：3629）

所在地：〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目15番2号

代表者：代表取締役社長 五十嵐 幹

資本金：272,330千円

設立：2003年4月1日

URL：<http://www.cross-m.co.jp/>

事業内容：リサーチ事業、ITソリューション事業

会社名：株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント

所在地：〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1丁目4番10号

代表者：代表取締役 桑田 瑞松

資本金：30,000千円

設立：1968年1月17日

URL：<http://www.rad.co.jp>

事業内容：マーケティング・リサーチの企画設計、実施及びコンサルテーション  
経営・マーケティング活動の評価及びコンサルテーション

## ■本資料に関するお問い合わせ先■

株式会社クロス・マーケティング 広報担当 大島

TEL:03-3549-0328

e-mail:pr-cm@cross-m.co.jp

株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント リサーチ&ソリューション部 野口 / 販促担当 小林

TEL:03-5642-7711(代表) e-mail:radnews@rad.co.jp

《引用・転載時のクレジット表記のお願い》

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

〈例〉「クロス・マーケティングとリサーチ・アンド・ディベロプメントが実施した調査によると・・・」